

市長定例記者会見事項書

日時 平成25年2月1日（金）11時00分～
場所 庁議室（市本庁舎4階）

○中勢北部サイエンスシティへの新たな企業の進出について

○平成24年度津市災害図上訓練について

定例記者会見 平成２５年２月１日（金）１１時～	
場 所 庁 議 室	
事 務 担 当 課	
所 属	職・氏 名
商工観光部 企業誘致室 (電話２４４－１７６１)	企業誘致室長 西口 哲司

中勢北部サイエンスシティへの新たな企業の進出について

このことについて、中勢北部サイエンスシティへ新たな企業の進出が決定しました。
その内容は別添資料のとおりです。

なお、立地協定に関する調印については、さる平成２５年１月２３日に締結済みですが、同社の意向により、本日付けで発表します。

An aerial photograph of a suburban area. In the center, there is a cluster of industrial or commercial buildings with large, flat roofs. Surrounding these buildings are residential neighborhoods with smaller houses and trees. A road or railway line runs through the area, and there are some open fields. The overall scene is a mix of urban development and natural landscape.

中勢北部サイエンスシティへの 新たな企業の進出について

平成25年2月1日

新たに進出した企業

立地協定
締結日

平成25年1月23日

名 称

株式会社 丸八ヒロタ

代表取締役 廣田 暁之

本社所在地 愛知県稲沢市

業 種

飲食料品卸小売業

概 要

昭和49年4月10日設立

資本金 1,000万円

年間売上高 22億3,500万円(H24.3)

従業員数 41名(H24.10現在)

進出計画の概要

進出内容

中勢北部サイエンスシティ内に
営業所・倉庫等を新設

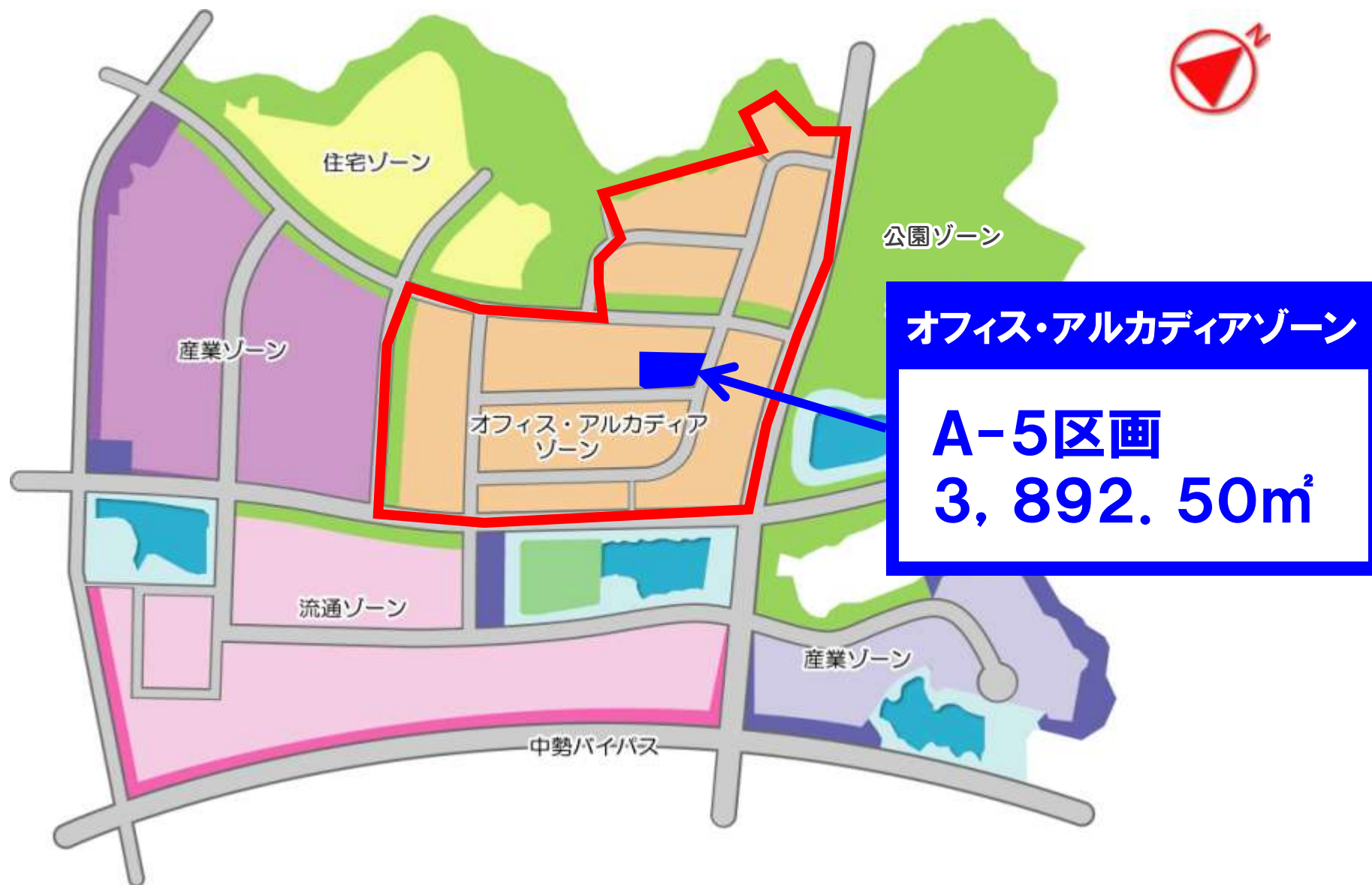
進出場所

A-5区画 3,892.50m²
津市あのかつ台四丁目6-5
オフィス・アルカディアゾーン(独立行政
法人中小企業基盤整備機構が造成)

操業開始

平成25年10月(予定)

進出決定企業の進出場所



平成24年度 中勢北部サイエンスシティへの進出企業

オフィス・アルカディアゾーン

三重電業(株)

- ・H24.5.17協定
- ・H25.3 操業予定
- ・敷地面積 約0.30ha

(株)丸八ヒロタ

- ・H25.1.23協定
- ・H25.10 操業予定
- ・敷地面積 約0.39ha

三重リコピー販売(株)

- ・H25.1.29協定
- ・H27.10 操業予定
- ・敷地面積 約0.74ha

流通ゾーン

(株)ホンダパーツ中部

- ・H24.9.25協定
- ・H25.8 操業予定
- ・敷地面積 約0.45ha

平成24年度
中勢北部サイエンスシティ進出企業
5社・6区画

平成25年2月1日現在

産業ゾーン

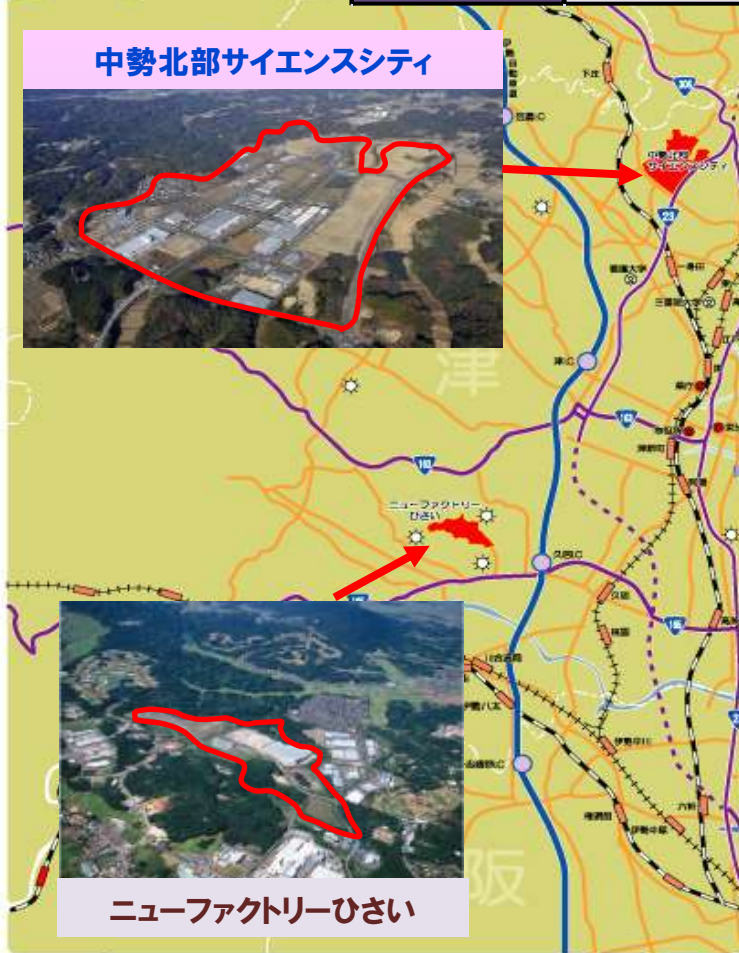
佐藤ライト工業(株)

- ・H24.7.30協定
- ・H26.4 操業予定
- ・敷地面積 約1.55ha

過去3年間の企業誘致実績

年 度	誘致企業数	分譲・賃貸面積	総投資額	雇用人数
22年度	2社	約9,000m ²	約5億円	7人
23年度	8社	約235,500m ²	約230億円	約300～350人
24年度	5社	約34,300m ²	約18億円	約40人

中勢北部サイエンスシティ



ニューファクトリーひさい



	企業名	立地協定日	操業開始	面積
23年度	倉敷紡績株式会社 (クラブウ三重工場)	H23. 7. 6	H24.5(第1工場) H24.6(第2工場) H25.1(第3工場)	約45,000m ²
	リユーベ株式会社	H23. 9. 1	H26. 7 操業予定	約6,000m ²
	マグ・イソペール株式会社	H23. 9. 8	H27年 操業予定	約137,000m ²
	株式会社ブランカ	H23.12. 1	H25.1	約3,400m ²
	中勢製氷冷蔵株式会社	H23.12. 7	H25. 2 操業予定	約4,400m ²
	財団法人近畿健康管理センター	H24. 3. 8	H27. 4 操業予定	約12,900m ²
	福山通運株式会社	H24. 3.30	H25.11 操業予定	約16,900m ²
	株式会社アイチコーポレーション	H24. 3.30	H24.9	約4,200m ²
24年度	三重電業株式会社	H24. 5.17	H25. 3 操業予定	約3,000m ²
	佐藤ライト工業株式会社	H24. 7.30	H26. 4 操業予定	約15,500m ²
	株式会社ホンダパーツ中部	H24. 9.25	H25. 8 操業予定	約4,500m ²
	株式会社丸八ヒロタ	H25.1.23	H25. 10 操業予定	約3,900m ²
	三重リコピー販売株式会社	H25.1.29	H27. 10 操業予定	約7,400m ²

定例記者会見 平成２５年２月１日（金） １１時～	
場 所 庁 議 室	
事 務 担 当 課	
所 属	職・氏 名
危機管理部 防災室 (電話 ２ ２ ９ － ３ １ ０ ４)	防災室長 佐藤 昭人

平成２４年度津市災害図上訓練について

平成２４年度津市災害図上訓練を実施します。その内容は別添資料のとおりです。

平成24年度津市災害図上訓練を下記のとおり実施します。

記

1 実施方針

平成24年度津市災害図上訓練については、職員を対象に実施し、災害対策本部の機能、各部・各自の任務等について確認するとともに訓練で発生する問題点、留意点を把握・改善することで災害対応力の強化を図るものです。

2 本訓練の特徴

- (1) 外部評価の導入
- (2) 三重県（津県民センター）との連携
- (3) ロールプレイング方式による訓練

※ ロールプレイング方式

実際の災害現場に近い場面を設定して、訓練者に災害対策本部を構成するそれぞれの立場で災害時を模擬体験し、様々な方法で付与される災害状況を収集・分析・判断するとともに、対策方針を検討するなどの災害活動を図上で行う訓練です。

3 日時

平成25年2月18日（月）午前9時から正午まで

4 場所

- (1) 本庁舎8階（大会議室A・B、防災資機材会議室）
- (2) 各部・課及び各総合支所

5 訓練内容

- (1) 災害関連情報の収集・整理
- (2) 災害対策本部会議の開催
- (3) 担当部局への指示及び対応結果の収集
- (4) 三重県との情報共有による連携
- (5) 三重大学防災室長による外部評価

6 進行予定

- ・ 9：00 準備・説明
- ・ 9：30 開始
- ・ 11：20 終了
- ・ 11：30 講評
- ・ 12：00 終了

7 参加機関及び参加予定人数

- (1) 津市災害対策本部員（各部及び各支部）約80名
- (2) 三重県津県民センター県民防災室 2名
- (3) 三重大学防災室 1名

平成24年度 津市災害図上訓練について



平成23年台風第6号に関わる津市災害対策本部会議

平成25年2月1日

1 災害図上訓練とは

災害図上訓練とは、実員・実装備で行う実動訓練とは異なり、**専用の地図**を用いて地域で大きな災害が発生する事態を想定して、地図上に兆候や災害情報などを付箋等で逐次書き込み、地図上に駒等を展開しながら、所掌する各部署の対策・処置事項を検討していく**シミュレーション**訓練



図上訓練の様子(H23三重県)



付箋や駒を活用(H23消防本部)

2 図上訓練で期待できる効果

実動を伴わずに**ヘッド部分**の訓練が実施できる

情報収集・分析
総合意思決定
コミュニケーション
手続きの確認

本部長
副本部長
各部次長
参事・副参事
各課・室長
主幹・副主幹
主査



図上

イメージ行動
代用品使用
(地図・駒・紙)

実動

実際の行動
実物を使用

3 これまでの経緯

年度	津市の図上訓練実施状況
18	三重県災害対策本部設置・運営図上訓練
	津市災害対策本部図上訓練(1月)
19	三重県災害対策本部設置・運営図上訓練
20	同上
21	同上
22	同上
23	同上
24	同上
	津市災害(対策本部)図上訓練(2月) ※津市主催としては6年ぶり

4-1 今回の訓練の実施概要とその特色等

日時

平成25年2月18日(月)9時～正午
ただし、警報発表時は中止

場所

市役所8階大会議室A・B及び資材会議室
各総合支所

目的

組織内での情報伝達や指揮命令系統の確認と防災関係機関相互の連携が図られるよう、また、応急対策能力を高めるため、図上訓練を実施

4-2 今回の訓練の実施概要とその特色等

対象者(基準)

- ①災害対策本部組織編制による本部長以下各部長等(又はその代理者)
- ②危機管理総務部シフト要員の一部指名者及び各部等の情報連絡調整者
- ③各総合支所長(又はその代理者)及び危機管理担当者
- ④消防本部の一部要員(情報連絡調整者)

参加機関

津県民センター、津警察署(情報伝達のみ)、
津南警察署(情報伝達のみ)

4-3 今回の訓練の実施概要とその特色等

訓練の特色

- ① ロールプレイング方式で実施
- ② 発生頻度の高い風水害想定を使用
- ③ 本庁と全総合支所の基幹要員を訓練対象
- ④ 第3者による外部評価を実施
- ⑤ 外部機関の参加を予定



風水害の被害



安濃ダムの放流



外部評価者(三重大)



津県民センター

4-4 今回の訓練の実施概要とその特色等

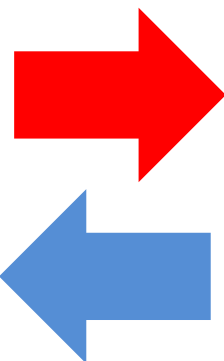
災害図上訓練の実施要領(ロールプレイング方式)

プレーヤー (訓練者)

- 入手した情報を分析し、対策・処置を検討
- 地図上に情報・処置を展開し、相互に共有

コントローラー (訓練進行人)

- 電話・FAX・メール・文書等により状況を付与
- 不明内容の問い合わせや確認に対し回答

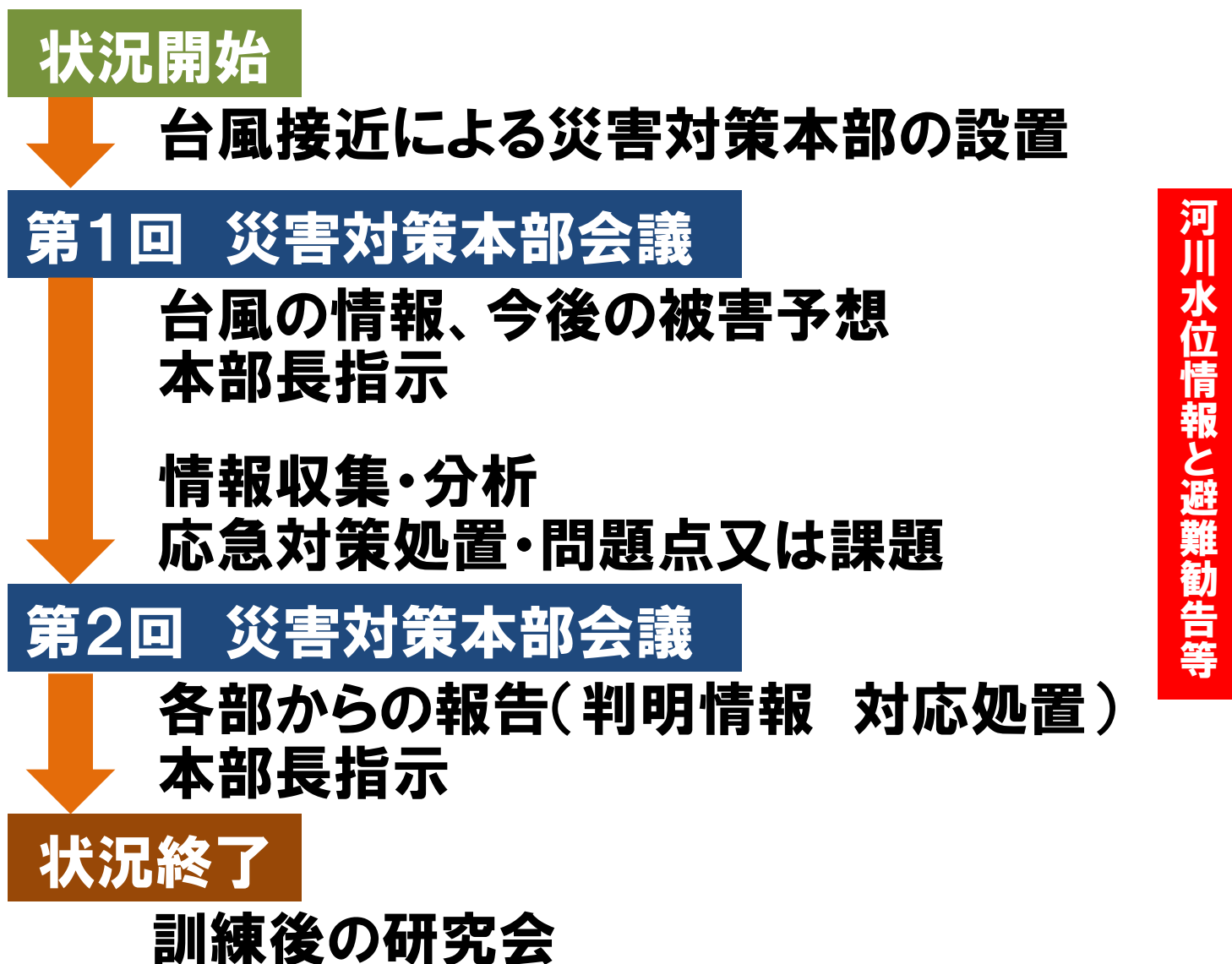


外部評価者(客観的に教訓事項等を洗い出す人)

良かった点

悪かった点(改善すべき点)

4-5 図上訓練の概略フロー（風水害対応）



5 今後の図上訓練への取り組み

- ① 今後、訓練のノウハウを毎年継承・発展させるため、実動訓練同様に来年度も図上訓練を継続予定
- ② 津市職員全体として災害対応能力向上を図る場を創出
- ③ 今回は発生頻度の高い風水害想定から着手し、段階的に対応能力を高め、大規模地震災害へ

